

使命は、全社員の 物心両面の幸福を 追求すること。



代表取締役 岡元 松男 さん

当社は、「全社員の物心両面の幸福を追求する」ことを使命に掲げています。この使命の達成には、職場でも家庭でも社員が生き生きと過ごせていることが肝心です。これまでに、休暇制度の認知度向上や多能工化を進め、女性だけでなく男性も制度を活用しやすい環境づくりのためにさまざまな取組を導入してきました。

創業時、社員が少なかった頃に培った「部署を問わず互いに協力しあう応援体制」は今でも残っています。京セラの稲盛和夫氏が提唱する「アメーバ経営」の考え方を取り入れ、部門別採算制のもと、業務効率化や生産性向上にも取り組んできました。また、ILUO表(客観的な習熟度によるスキルマップの作成)を活用した力量評価を行い、作業レベルの平準化や多能工化の推進にも力を入れています。おかげで、休む社員が出た時に他の社員や他部門がフォローできる環境がしっかり整っています。来年度からは、RPA(ロボットによる業務自動化)を導入予定。システムは大きく変えずに、よりよい職場環境の整備を進めたいと考えています。

呉服業界は女性の働き手が多く、ひと昔前は「女性は結婚や出産を機に仕事から離れる」という風潮がありました。それまで積み重ねたキャリアを失うのは、本人にとっても会社にとってもマイナスです。そこで女性が働き続けられる環境や仕組みを整備してきました。全員でうまく仕事を回す仕組みが不可欠となり、自然と仕事を共有し、互いに休みをフォローし合う風土が浸透したのだと感じています。

現在、IT部門の管理をしている男性社員が3カ月間育児休業を取得中です。育児休業の取得を機に、それまで個人で抱えていた仕事を他の社員に割り振り、新たな協力体制の構築につながりました。今後も、育児休業を希望する男性社員がいれば、積極的にサポートをしていきたいと考えています。

企業は現状維持ではなく、常に考え方や働く環境をアップデートしていかなければいけません。これからも新たな仕組みを取り入れながら働き方改革を進め、全社員の物心両面の幸福を追求していきたいと考えています。

こんな取組を推進しています!

取組1

男性社員への積極的な声掛け

男性社員に対する周知を図り、取得しやすい環境づくりにつなげる

取組2

多能工化の推進

ILUO表を活用し、個々の能力の向上と平準化を目指す

取組3

他部門からの応援体制の確立

急な休みや繁忙期には、全社員でカバーできる体制に

「きもの文化を伝承したい」 思いをカタチにしたきもの生地のディスプレイ。



2017年3月に本社工場「夢ファクトリー」を新設。開放的な食堂の窓際には虹色に配置されたきもの生地のディスプレイがあります。500枚のきもの生地を使用し、800枚のパネルを作成しました。「個々の力は小さなものでも、組み合わせると大きな力になる」。そんな思いを表現しています。